

令和 8（2026）年度関西医科大学大学院看護学研究科

博士前期課程

入学試験問題 夏期

外国語（英語）

問題1 次の英文を読み、後続く各問題に答えなさい。

[出典：World Health Organization, 2025/06/02,[https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/universal-health-coverage-\(uhc\)](https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/universal-health-coverage-(uhc)) より一部改変]

- 1) 下線部を日本語に訳しなさい。
- 2) ユニバーサル・ヘルスカバレッジの現状の説明について、適切な記号を選びなさい。
 - a. 保健サービスの普及率において国レベルで進歩が見られる場合でも、集計データからは国内格差が隠れている。
 - b. 低所得の国の普及率が、目まぐるしく改善している。
 - c. 母子、青少年のいる世帯において、経済的困難に陥る可能性が高くなっている。
 - d. ユニバーサル・ヘルスカバレッジの普及は、費用対効果が悪いことがわかってきた。
- 3) ユニバーサル・ヘルスカバレッジを達成するために必要な考え方について、本文中の内容から、日本語で説明しなさい。
- 4) ユニバーサル・ヘルスカバレッジの視点から、日本における医療システムの現状と課題を日本語で述べなさい。

令和8年度(2026) 関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程 入学試験問題 夏期 外国語(英語)
出題の意図および解答例

問題1

1)

【出題の意図】

英語文章の基礎的な読解力を確認するとともに、与えられた内容を的確に日本語で表現する能力を測ることを目的としている。基本的な読解力と文章構成力を評価する。

【解答例】

ユニバーサル・ヘルスカバレッジとは、すべての人が、必要な時に、必要な場所で、経済的に可能な範囲で、質の高い保健サービスを幅広く受けられることを意味する。ユニバーサル・ヘルスカバレッジは、健康増進から予防、治療、リハビリテーション、緩和ケアに至るまで、生涯にわたる基本的な保健サービス全般をカバーしている。

2)

【出題の意図】

本文全体を正確に読み取る読解力、ならびに解釈力を評価する。

【解答】

a

3)

【出題の意図】

ユニバーサル・ヘルスカバレッジの概念やアプローチの方法を文中から読み取り、基本的な読解力と、日本語としての語彙力、表現力、文章構成力、論理的思考力を評価する。

【解答例】

プライマリ・ヘルスケアのアプローチを用いた保健システムの再構築を推奨している。プライマリ・ヘルスケアは、人々の心身の健康、そして社会福祉の向上を図る上で、最も包括的、公平、かつ費用対効果が高く、効率的なアプローチである。プライマリ・ヘルスケアは、人々の日常生活に可能な限り近い場所で、誰もが保健サービスに統合的にアクセスできる環境を実現する。また、人々が健康と福祉のために必要とする質の高いサービスと製品の包括的な提供にも役立ち、それによって普及率と経済的保護を向上させる。プライマリ・ヘルスケアのアプローチによって、大幅な費用対効果を達成し、ユニバーサル・ヘルスカバレッ

ジの必須介入の 90%を実現できる。

4)

【出題の意図】

世界に先駆けて達成している日本のユニバーサル・ヘルスカバレッジの理解について、日本のヘルスケアシステムの特徴を踏まえて説明・論述する力を評価する。医療制度に関する基本的知識の他、日本語としての語彙力、表現力、文章構成力、論理的思考力を評価する。

【解答例】

ユニバーサル・ヘルスカバレッジの視点から日本のヘルスケアシステムの現状や課題として、国民皆保険制度、医療機関へのフリーアクセス、高額療養費制度などの現状とともに、生活困窮者の存在や、医療費高騰などの課題を例示し、自らの考えを述べていること。